

2019年度 輝くまちづくり交付金 実施報告書

1 事業内容

団体名	特定非営利活動法人くしろ・わっと
事業名	まちなか周遊ガイド事業
課題テーマ	まちなか周遊の促進に資する事業
事業提案の背景	近年釧路を訪問する外国人観光客や邦人バックパッカー、長期滞在者が増えるに伴い、まちなかの飲食店や宿泊施設、周遊スポットの案内などを市民活動センターへ求めてやってくる来館者が急増したこと、釧路市の幣舞橋ライティング事業がスタートし、夕方からのまちなか周遊案内が求められていること。
事業目的	○釧路を訪れ滞在する外国人を含む様々なお客様に、まちなか周遊を満喫してもらい、リピーターになってもらうこと。 ○SNSなどで広く国内外に釧路の魅力を発信してもらい、新たな訪問客をつくりだすこと。
事業概要	○訪問客に人気の飲食店やおみやげ店、お薦めのビュースポットなどをわかりやすく紹介するまちなか案内マップの作製。 ○市民活動センターにやって来る外国人を含む訪問客に対する親切で丁寧なまちなか周遊案内。 ○来館者・タクシー会社・長期滞在者を対象にアンケート調査を行い観光についての情報を収集、当センター所在地(末広)を中心とした周遊MAP、来館者・レンタサイクル利用者に人気のあるスポットへのMAPや移動手段を明確化。他所の市民活動センターでの観光ガイドを学ぶ。
事業展開	2019年6月～2020年3月 ・アンケート調査実施 ・MAP制作(末広界隈・春採湖案内図) ・館内での観光案内用掲示物作成・AI翻訳機の導入。 2020年1月27日 職員研修 函館地域交流まちづくりセンター(当施設と同様中間支援センター、創立当初より観光案内事業に従事)によるskype通信にて、パワーポイント講座を受講。
成果目標の達成状況	①長期滞在・観光にて釧路を訪れた方々にアンケートに答えて頂いた事により、人気のある飲食店や釧路の魅力を再確認し自信を持って観光案内できるようになり、MAPへも反映させた。 ②春採湖方面への行き方を聞かれる方がとても多く、MAPを作成し来年度以降の案内をスムーズに行えるようにした。 ③函館地域交流まちづくりセンターより、観光案内についてのパワーポイント講座を受け、市民活動センターとしての観光案内について学んだ。

	④当施設内において飲食店の情報を紙媒体にてQRコードをつけ店名・電話番号を表記したものを設置し、仕事でセンターを利用される方、観光で訪れた方向けに飲食店をスムーズに紹介できるようにした。
波及効果の達成状況	①レンタサイクルを利用し、SNSにて釧路の魅力を発信しているのが見受けられ、観光客の増加へと繋がった。 ②MAP制作により道案内・飲食店の説明を詳しく行えるようになり、多少なりとも釧路市の活性化へ繋がった。 ③アンケート協力に伴い、当法人職員がセンターを訪れる方々へ今まで以上に気持ちを込めて観光案内を行えるようになった。来年も必ずセンターを訪れると話されて帰られるお客様が増えた。 ④観光で釧路を訪れた方にアンケート依頼をした事により探求心が芽生え、当施設来館時に詳しく・細かく感想を教えてくれる様になり交流も増え、信頼を獲得できた。
実施体制	当法人内職員
連携した市担当課	有（産業振興部 観光振興室）
連携した市担当課が果たした役割（※有の場合）	MAP作成の協力

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	135,113	
自主財源	142,918	
合 計	278,031	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
消耗品費	47,113	コピー用紙、インク、ラミネート他
委託料	88,000	タクシー会社及び飲食店のアンケート調査 MAP作成費
小 計	135,113	
対象外経費		
備品	32,918	AI 翻訳機導入
印刷費	110,000	リーフレット
小 計	142,918	
合 計	278,031	